

### 03 誰もが自分らしくすこやかに生活できるまちづくり

## 健康長寿

- 01 こころと体の健康づくりの推進
- 02 医療と年金の適正運営
- 03 高齢者の生きがいづくり
- 04 介護保険事業の適正運営
- 05 地域包括ケア体制と介護予防の推進

## 福祉

- 06 地域福祉の推進
- 07 障がい者（児）の社会参加の支援
- 08 生活保障と自立支援

# 健康づくりの推進

政策03  
施策01

## こころと体の



1\_保健指導 2\_こころの健康相談 3\_健康増進 4\_男性料理教室

### めざそう値

前期施策めざそう値 生活習慣病の対策などと併せて、健康づくりに関心を持ちやすい環境が整備され、健康寿命の延伸につながっている。

**3.16** /3.01 (現状値)

### 現状と課題

健康寿命と平均寿命の差は縮んでいるものの、生活習慣病の増加などにより医療費や介護給付費などの社会保障費は増加しています。

今後は健診受診率向上や保健指導の充実など、より一層の生活習慣病対策が求められています。

また、心の病気が社会問題となっており、人が自分らしく生きていくために、心の健康問題の改善に取り組む必要があります。

### 基本目標

こころと体の健康づくりや食育を通して、健診・医療情報などを活用した生活習慣病の発症および重症化の予防や心の健康づくり対策、感染症対策などに取り組むことにより、みんながともに支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力のある社会の実現を目指します。

## 小施策

### 01 健康づくりの推進

こころと体の健康維持・増進のための体制整備、各種教室・相談を行います。また、感染症の予防・対策を実施します。

#### 目標

市が実施する健康教室・相談事業の年間参加者数  
**16,500**人（平成29年度16,272人）

### 02 生活習慣病対策の推進

高齢者が増加する中で、今後、特に重要となる生活習慣病の発症予防・重症化予防対策およびがんの早期発見・早期治療を推進します。

#### 目標

特定健診の受診率 **40%**（平成29年度27.7%）

## 主な取り組み

### ①こころと体の健康づくり事業

運動や食事に関する健康教室・相談を実施します。また、心の健康相談の実施や自殺対策に取り組みます。

### ②高齢者予防接種事業

高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種および肺炎球菌予防接種を行います。

### ①特定健診・保健指導事業

市民の健康維持のための特定健診を実施します。また、受診者に対し、生活習慣病の発症予防や重症化予防のための保健指導を行います。

### ②健康ポイント事業

生活習慣病の予防・改善のための事業の参加に対し、特典と交換できるポイントを付与し、市民の健康づくりの取り組みを支援します。

## 関連計画

- ①大野城市健康・食育プラン
- ②大野城市いのちを支える自殺対策計画
- ③大野城市保健事業実施計画（データヘルス計画）
- ④大野城市新型インフルエンザ等対策行動計画

# 医療と年金の適正運営

政策03  
| 施策02



1\_国保年金課

## 現状と課題

高齢化の進行や医療技術の高度化などにより、一人あたりの医療費の増大が深刻化しています。市町村は地域住民と身近な関係の中で、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業などのきめ細かいサービスが引き続き求められています。

また、日本年金機構が所管する国民年金制度の市窓口における適正な事務処理や医療費助成制度の拡充など、市が担う範囲と責任は近年拡大傾向にあります。

## 基本目標

市民生活の多様化や少子高齢化に対応できるように、国民健康保険、国民年金、公費負担医療の適切な業務を通じて、それぞれの制度の円滑な運営に努め、社会保障制度の充実を図ります。

## 小施策

### 01 国民健康保険制度の適正運営

財政運営の県単位化などの制度改革に対応するとともに、医療費の適正化や財源の確保などの取り組みによる国保財政の健全化を図ります。

#### 目標

国民健康保険関係手続きに関する窓口での職員説明に対する市民理解度 **100%**（平成 30 年度 96%）

### 02 国民年金と公費医療の適正運営

国民年金制度の適正な事務処理と相談事業の充実を図ります。また、子ども医療費助成制度の拡充と公費医療制度の適正な運営に努めます。

#### 目標

国民年金関係手続きに関する窓口での職員説明に対する市民理解度 **100%**（平成 30 年度 96.4%）

子ども医療証の交付率 **99%**（平成 29 年度 93.2%）

## 主な取り組み

### ①国民健康保険財政健全化事業

「国民健康保険財政健全化アクションプラン」に基づき、財源の確保につながる事業の拡大に努めます。

### ②国民健康保険運営事務事業

国民健康保険制度に対する市民の理解を深め、医療機関などへの適正受診に対する対応や啓発を行います。

### ①子ども医療費支給事業

全国的な傾向を踏まえ、適宜年齢や対象の拡大に努めるとともに、制度の普及啓発を行います。

### ②国民年金事務事業

国民年金の相談業務などにより適正な運営を図ります。また、制度の啓発活動を行い、市民の理解を深めます。

## 関連計画

①大野城市国民健康保険財政健全化アクションプラン

# 高齢者の生きがいづくり

政策03  
施策03  
重点施策



1\_シニア大学「山城塾」 2\_グラウンドゴルフ（シニアクラブ）

## めざそう値

前期施策めざそう値 高齢者が豊かな知識や経験を発揮し、地域社会に参加しやすい環境が整っている。

3.28 / 3.03 (現状値)

## 現状と課題

高齢化率は全国平均を下回るものの、高齢化の進展に伴い、医療や生きがいづくりなどのニーズが多様化しています。

これから進展する長寿社会に向けて、高齢者が豊かな知識や経験を活かし、生き生きと暮らしていける社会づくりとともに、住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備していく必要があります。

## 基本目標

高齢者がより自分らしく生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、高齢者自身の豊かな知識や経験を活かし、地域社会に積極的に参加できる環境づくりを進めます。

また、高齢者が病気やけがの際に、安心して適切な医療が受けられるよう、後期高齢者医療制度の円滑かつ適切な実施に努めます。

## 小施策

### 01 高齢者の生きがいづくり

高齢者の学びの場や活躍できる機会を創出し、住み慣れた地域で、生きがいを持って生活できる環境を整備します。

#### 目標

市や支援団体などが実施する高齢者の生きがいづくり事業および施設の年間参加・利用者数 **98,400** 人（平成 29 年度 95,650 人）

### 02 後期高齢者医療制度の適正運営

資格管理や保険料賦課などを適切に行いながら、後期高齢者医療制度の適正な運営に努めます。

#### 目標

後期高齢者医療関係手続きに関する窓口での職員説明に対する市民理解度 **100%**（平成 30 年度 98%）

## 主な取り組み

### ①介護予防ボランティア事業

高齢者のボランティア活動を支援し、地域貢献や社会参加を促し、自身の健康増進と介護予防を図ります。

### ②シニア大学「山城塾」事業

60 歳以上の方を対象に、学習機会を提供し、生きがいづくりや生涯学習の促進を図ります。

### ③高齢者生きがい創造センター指定管理事業

高齢者の社会参加や生きがいづくりのため、就業につながる技術指導や就労相談、創作活動講習を行います。

### ①後期高齢者はり・きゅう助成事業

はり・きゅうの費用の一部を助成することにより、高齢者の健康の保持増進に寄与します。

### ②後期高齢者医療保険料賦課徴収事務事業

後期高齢者医療制度を適正に運営するため、75 歳以上の後期高齢者から保険料を徴収しその財源とします。

## 関連計画

①大野城市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

# 介護保険事業の適正運営

政策03  
| 施策04



1\_介護保険事業

## 現状と課題

平均寿命の延伸に伴い、介護給付費などの社会保障費は増加傾向にあります。

また、介護保険法の改正により、地域包括ケアシステムの構築や高齢者自立支援、要介護状態の重度化防止が重点的に進められています。高齢化の進展に合わせ、今後もさらなる介護保険事業の充実とサービスの適正化を進めていく必要があります。

## 基本目標

高齢者が要介護状態などになることを予防するとともに、要介護状態などとなった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、介護保険事業の充実とサービスの適正化に努めます。

また、介護サービス事業者や関係機関などの多職種間の連携を強化し、医療・介護・福祉の充実を図ります。

## 小施策

### 01 介護保険事業の適正運営

介護保険に関する相談・資格管理・給付などを適切に行います。また、介護サービス事業者との連携強化と指導・助言を適切に行います。

#### 目標

介護保険関係手続きに関する窓口での職員説明に対する市民理解度 **93%**（平成 30 年度 83%）

## 主な取り組み

### ①介護保険運営管理事業

市民や事業者からの介護相談や資格・給付の受付などの体制を確立することにより、事務の効率化を図ります。

### ②ケアマネジメント調整会議開催事業

高齢者の自立支援に即したケアプランとなるよう、ケアマネージャーに対し、多職種で指導や助言を行います。

## 関連計画

①大野城市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

## 用語解説

### ケアプラン

個々のニーズに合わせた適切な保険・医療・福祉サービスが提供されるように作成される介護計画。

# 介護予防の推進 地域包括ケア体制と

政策03 | 施策05 重点施策



1\_一般介護予防事業 2\_地域ケア会議 3\_高齢者訪問

## めざそう値

前期施策めざそう値 医療・介護・福祉の関係機関や地域ボランティアなどが連携し、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしく生きることができる環境が整っている。

**3.29** / 3.04 (現状値)

## 現状と課題

高齢化の進展や、医療・介護需要のさらなる増加を背景に、地域の実情や特性に合わせた、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援のサービスを一体的に提供できる、地域包括ケアシステムの構築を進めています。

今後も、地域包括支援センターが中心となり、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る必要があります。

## 基本目標

住み慣れた地域で支え合い、医療や介護が必要な状態になっても、尊厳を保ちながら人生の最後まで自分らしく生活ができるよう、自助・互助・共助・公助の力を最大限に活用し、自立した日常生活を営むことができる環境づくりを進めます。

## 小施策

### 01 地域包括ケア体制と介護予防の推進

基幹型地域包括支援センターの機能強化や、地区地域包括支援センター、関係機関・団体との連携により、介護予防支援と高齢者福祉を推進し、地域包括ケアシステムの充実を図り、切れ目のないサービス提供に努めます。

#### 目標

市や支援団体などが実施する一般介護予防事業の年間参加者数 **9,600** 人（平成 29 年度 6,411 人）

## 主な取り組み

### ①地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センターの事業評価を通じ、公正・中立的な運用と機能強化を図ります。

### ②一般介護予防事業

高齢者の健康づくりや介護予防に向けて、足元教室や音楽サロン、健康づくりミニデイを実施します。